

湯前まんが美術館 「出前まんが美術館事業」

湯前まんが美術館 — 那須良輔記念館 —

球磨郡 湯前(ゆのまえ)町

平成25年4月1日現在



・熊本県の南部、球磨盆地の東端に位置し、宮崎県西米良村に隣接

熊本市まで118km

宮崎市まで120km

鹿児島市まで110km

人口・・・約3,600人

主幹産業・・・農業、林業



湯前まんが美術館

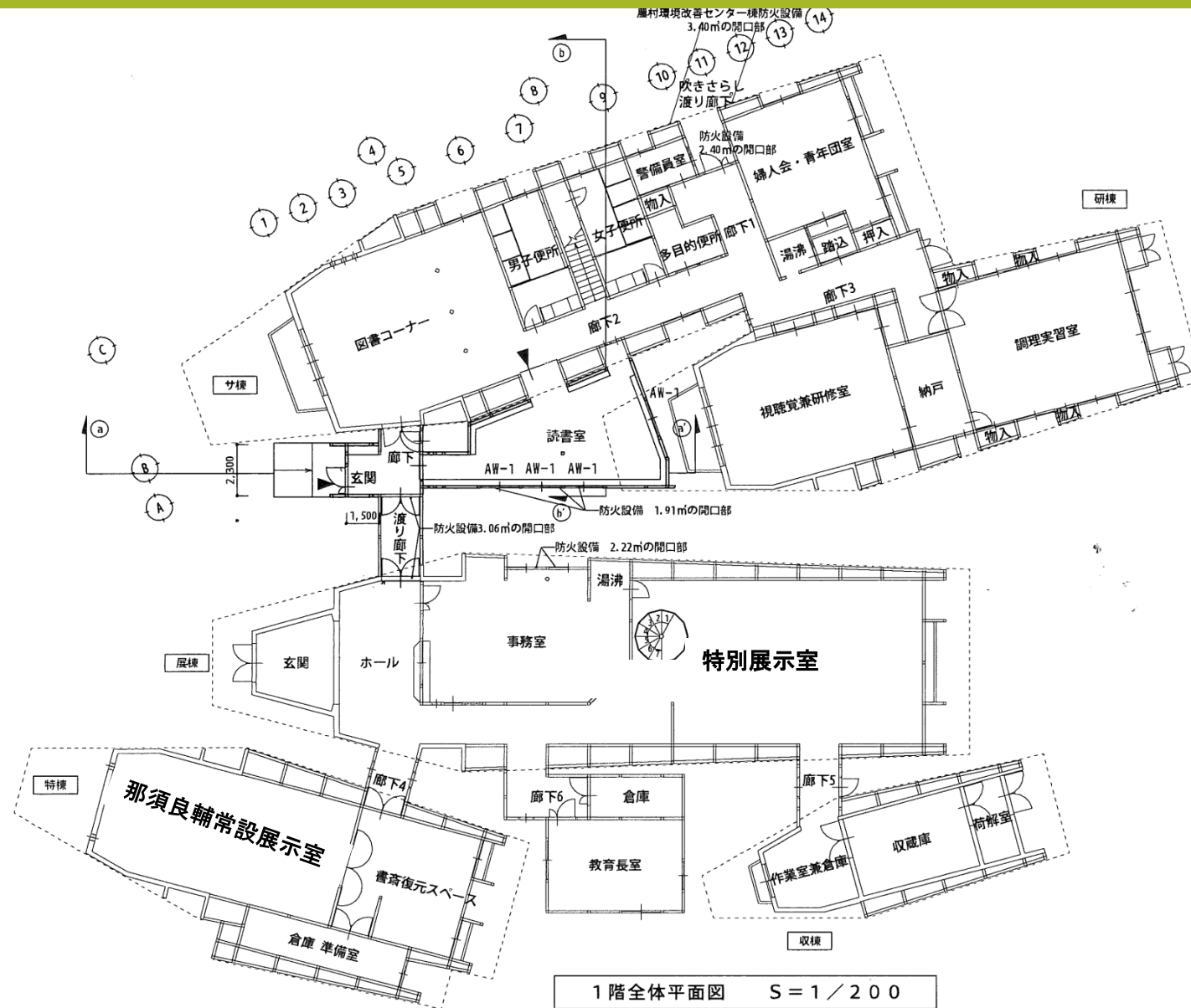
- ・1992年(平成4年)11月、湯前町出身の政治風刺マンガ家・那須良輔の功績を保存・展示する施設として開館。
- ・建物は「くまもとアートポリス」参加作品。球磨地方の杉と檜を使用し、地元の伝統的な大工技術を駆使した木造建築。
- ・那須良輔作品7,113点、遺品や写真などを含めると1万点以上の那須関連資料を収蔵。

- 那須良輔常設展示室

約 61 m²

- 特別展示室

約 81 m²



湯前まんが美術館

那須良輔

【1913-1989】マンガ家



伝記マンガ化！
『那須良輔物語 風を描く人』



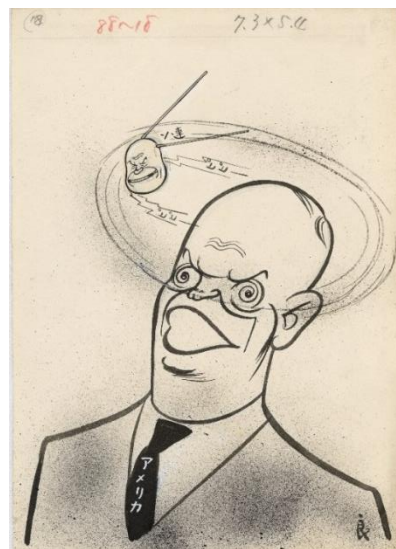
熊本県球磨郡湯前村（現・湯前町）に生まれる。幼い頃より球磨地域の豊かな自然に親しみ、天真爛漫な少年時代を送る。身近な野鳥や馬を地面に描いて遊んでいるうちに絵心が育まれ、洋画家になる夢を持って太平洋美術学校に進学。その後、内職のつもりで始めた子ども向けマンガや新聞マンガの世界で成功し、戦後マンガ界の重鎮となる。主に毎日新聞等連載の辛辣な**政治風刺マンガ**で知られるが、独特の閑雅なセンスが表れた**風景画**や、小林秀雄ら文化人との交遊で描かれた**人物画**、ユーモラスな**絵本**の挿絵などでも優れた作品を残している。

風刺マンガ

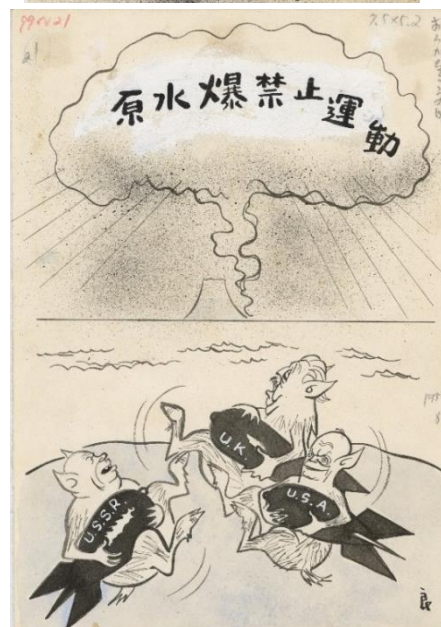
毎日新聞連載の風刺マンガをはじめ、各メディアに掲載された政治風刺マンガを多数収蔵。

那須自身の風刺マンガ家としてのキャリアが約50年に及ぶ（1940-1989）ため、戦争、環境問題、国内政争など多様なテーマの作品が残る。

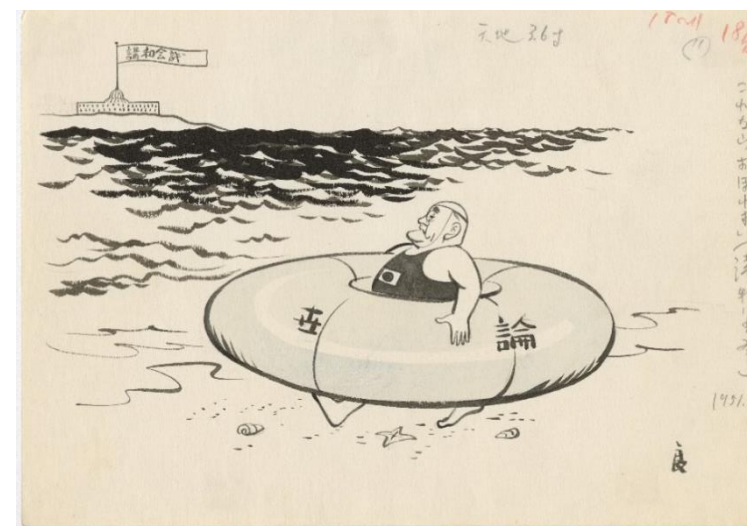
「赤い人工衛星打上げ」



「きたない公約」



「おろかなる文明」



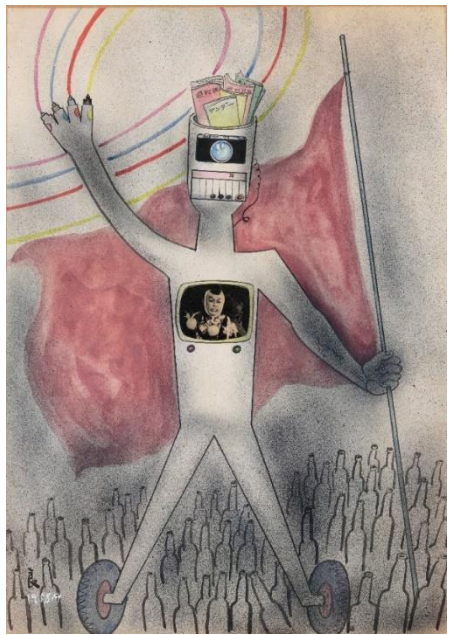
「これならおぼれまい」

風刺画

新聞掲載のマンガとは別に、個展の開催などに合わせて描かれた風刺画。

メッセージ性が強い大作の絵画作品。

「へそのない人間」



「ロン・ヤス」



「麻雀」

似顔絵・人物画

時の政治家や文化人をコミカルに、シニカルに描いた似顔絵。

ケネディ



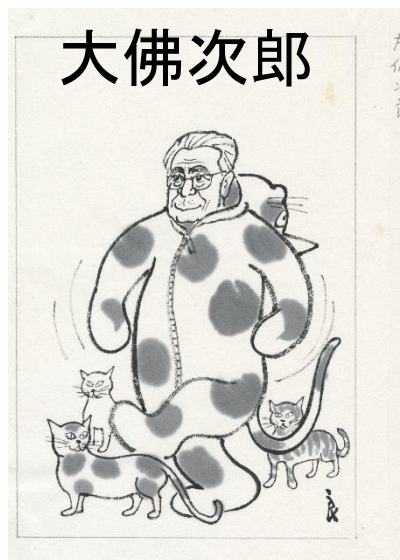
吉田茂



毛沢東



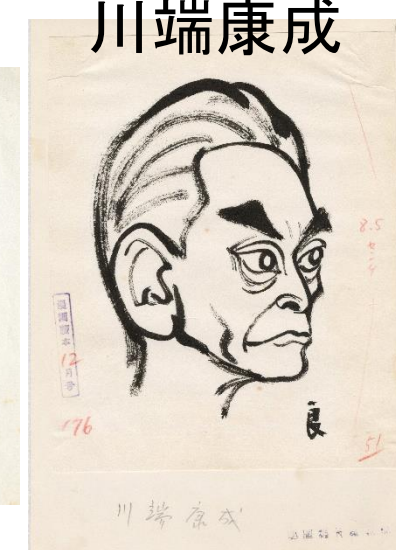
大佛次郎



小林秀雄



川端康成



風景画・ 動植物画など

風刺マンガとは異なる
柔らかな筆遣いで描か
れた風景画や、どこか
ユーモラスな味わいの
ある生き物たち。

「むつごろう」



「球磨川下り」



「餅焼」

写真資料

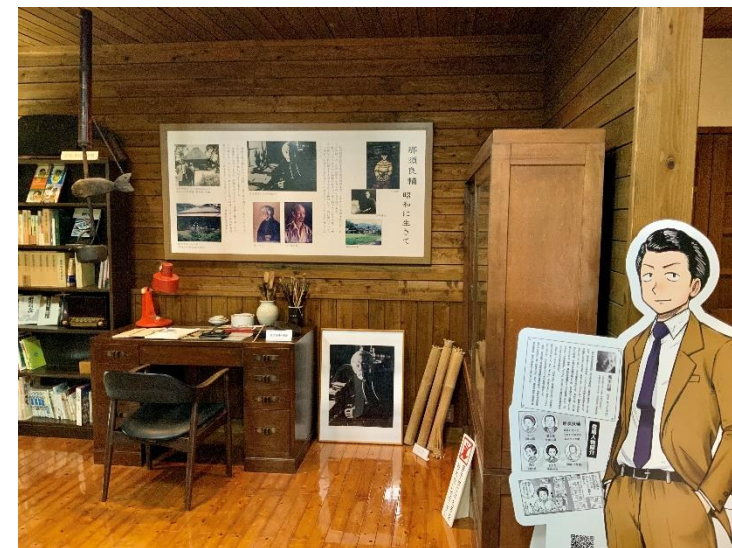
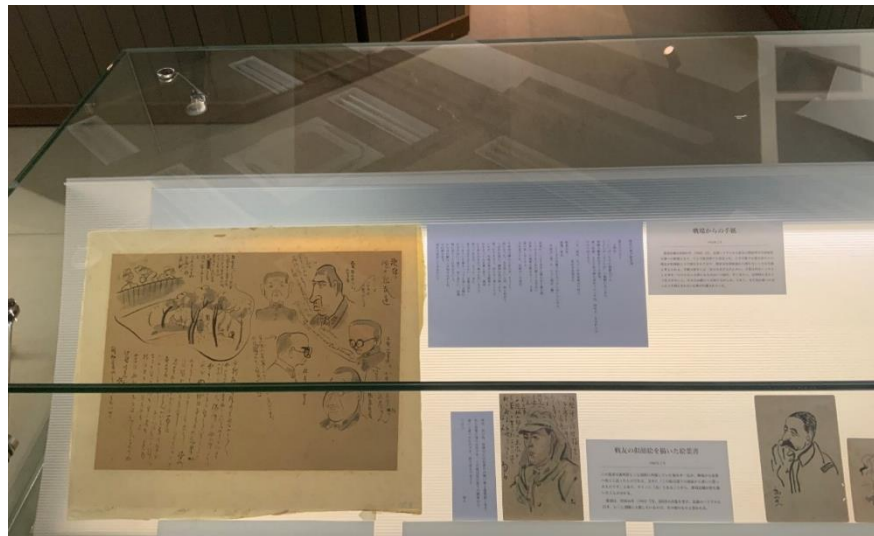
少年時代の写真から、
日中戦争出征時の写真、
マンガ家として成功した
後小林秀雄ら友人と
ともに撮った写真など
多数収蔵。



その他関連資料

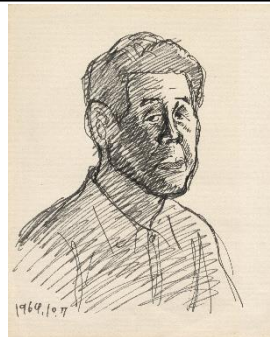
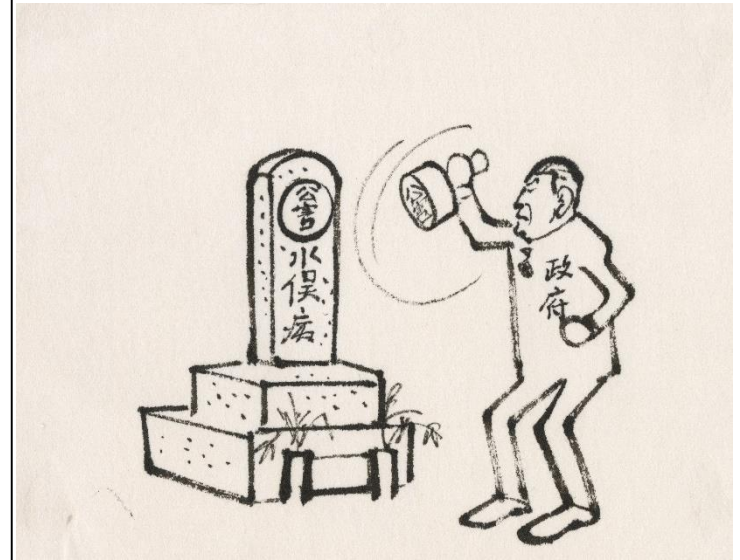
遺品、戦地から家族へ宛てた手紙などを収蔵。

常設展示室には那須が鎌倉の自宅で使用していた書斎を再現し、机や椅子、画材など本人が使用していたものを間近に見られるようになっている。



湯前まんが美術館と那須良輔資料の現在

- ・令和4年度で開館から30周年を迎えるにあたり、これまで館外に出る機会がなかった那須良輔作品の他館での展示を積極的に行い、「**那須良輔**」「**湯前町**」の知名度向上を図る。また、失われつつある「風刺マンガ」という文化の継承と発信に努める。
- ・今年度以降、湯前まんが美術館⇔他館との間で、**収蔵品（展示室）の貸借**等のネットワークづくりを積極的に行っていく。



“出前まんが美術館”事業

当館に収蔵されている多様な那須良輔作品・資料を、他館に展示会としてそのまま持ち込み可能なパッケージ化



「出前まんが美術館」！

展示パッケージの制作に併行し、展示の受け入れ先（美術館、画廊、展示場など）を探している。

“出前まんが美術館”事業

たとえば……

○那須良輔の戦争体験を描いた作品・反戦をテーマにした風刺マンガを集めた「戦争と平和展」

○風景画やユーモラスな動物の絵を集めた「文化紀行展」

○那須と交流があった文学者の肖像画を集めた「鎌倉文士展」 etc.

展示先の性質・規模感に合わせてさまざまなパッケージを制作します。

少ない作品からでもOK◎

“出前まんが美術館”事業

○作品には時代背景や成立事情を詳しく解説したキャプションが付き、解説員（学芸員、地域おこし協力隊員）の派遣も可能。

○まんが美術館で過去に開催した那須良輔展を「巡回展」として移送することもできます。



那須良輔
「戦争と平和」展
常設展示室

2022年8月1日（月）
～10月10日（月祝）

湯前まんが美術館-那須良輔記念館-
〒18-14-1 TEL. 0866-43-2050
OPEN 9:30 - 17:00
yunomae-manga.com



那須良輔
常設展示室

日本を代表する政治風刺漫画家・那須良輔の生涯

開館日……月・日曜日
（年末年始を除く）
開館時間……9:30-17:00
共通入館料……大人300円／小中学生100円／幼児無料

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、
臨時休館となる場合がございます。



「ロン・ヤス」
1983年頃

湯前まんが美術館
Yunomae Manga Museum 那須良輔記念館

“出前まんが美術館”事業

「那須良輔の作品展示に興味がある」

「展示ができそうな場所を知っている」

まずはお気軽にご相談ください！

☎0966-43-2050（湯前まんが美術館）

地域おこし協力隊Instagram/Twitter:@yunomae_manga



(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)

那須良輔

戦争と平和」展

常設展示室

2022年8月1日(月)
~10月10日(月祝)

湯前まんが美術館-那須良輔記念館-
熊本県球磨郡湯前町1834-1 TEL: 0966-43-2050
OPEN 9:30 - 17:00
yunomae-manga.com

＜昭和13年頃、軍馬とともに＞



(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)



(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)



(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)

